

2023年

3月9日

黙ってられない!

3.9福祉職員 賃上げ・増員アクション

月額4.8万円、
時間額300円
以上の
賃上げを

すべての
福祉職員に
時間額1500円
以上を

福祉職員の
大幅な
増員を

コロナ禍となって3年が経ち、社会的な制限はなくなっています。しかし、子どもや高齢者、障害のある人たちとその家族を支える福祉現場では、引き続き「感染しない・させない」ための業務負担と緊張感を抱えています。いのちを守り社会を支えるエッセンシャルワーカーとしての役割を果たし続けているからです。

政府は昨年2月から福祉職員に対して月9千円の賃上げ施策を開始しました。しかし、基本給の引き上げではなく、大半は手当での支給となっています。賃金水準は全産業平均より月8万円も低いなか、「9千円も上がってない」「物価高騰で消えた」などの不満が広がっています。また、政府は防衛費の大幅な増額を最優先にする一方で、その財源の一部で実現できる職員配置基準の引き上げに消極的な姿勢を変えていません。

もう黙ってられません。私たちは、利用者と福祉職員の権利が両立できる福祉職場にするために、大きく声をあげます。23春闘で、「基本給の大幅な引き上げ・職員増員」を掲げて、3月9日に全国各地でストライキを構えた統一行動を展開します。経営者には雇用責任を果たさせ、国や自治体には一刻も早い制度の改善と予算確保を迫ります。

私たちの行動にご理解いただき、ごいっしょに声をあげていただくなど、ご協力をお願いします。



黙ってられない!

子ども・高齢者・障害者・その家族を支える

福祉職員の **基本給UP** & **増員** を!

介護職場の
職員を減らす
って、冗談
じゃない!

政府は、
保育士を
増やすって約束
守って!

他の仕事との
賃金格差、
まだまだある!



全国福祉保育労働組合 2023年3月

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-6-8 サニープレイスビル5F-A
電話03(5687)2901 FAX03(5687)2903
E-mail: mail@fukuho.org HP: http://www.fukuho.info

もう
限界。

10人に7人が「やめたい」と思う。5人が「とても疲れる」 福祉職員の基本給UP & 増員 政治の力で今すぐ実現を

保育園・保育士

病休や突然の退職が続き、残された職員の負担が増えて精神的にきつい。常に緊張感があって、帰宅しても我が子に向きあう気力がなく、家族に申し訳ないです。

保育園・調理職員

給食の職員の社会的評価の低さに悲しくなります。食を豊かにし、子どもたちが健康的な食生活を身につけることを支える重要な仕事です。

介護事業所・介護職員

今の職員配置基準でも人間らしい生活の支援は限界です。ICTを活用した職員配置基準の緩和には絶対反対です。求めているのは、基準の引き上げです。

障害福祉事業所・支援員

グループホームの夜勤はワンオペ体制です。利用者と職員の安全・安心を守って、災害などにも対応するには、複数の職員が常時いる体制が必要です。

福祉職場を支えるための財源確保は待ったなし

利用者に安心・安全を保障し、一人ひとりを大切にしたい支援を継続させていくためには、専門性を発揮して働きつづけられる賃上げと増員が欠かせません。

ところが、職員が足りず、休憩や休暇がとりづらく、必要な支援もおこなえないなどの実態があります。政府は保育の質の改善として、1歳児6人に保育士1人、4・5歳児30人に保育士1人という配置基準を引き上げることを掲げてきました。しかし、財源が確保できないとして、その約束は何年も守られていません。また、国は介護分野でセンサーやロボット、ICT（情報通信技術）の活用と引き換えに、人員配置基準を緩和することさえ検討しています。

財源を最優先で確保して、賃金と職員配置基準を引き上げることが必要です。

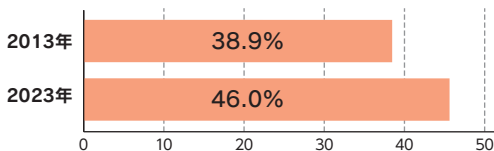


コロナ禍も3年に 少ない職員数で 心身の疲れは限界

仕事での心身の疲れは？

10年で
7.1ポイント増!

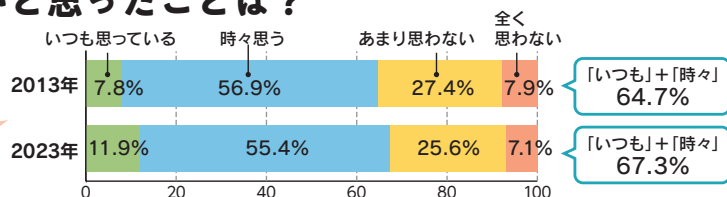
とても疲れる



やめたいと思う福祉職員は7割近くに

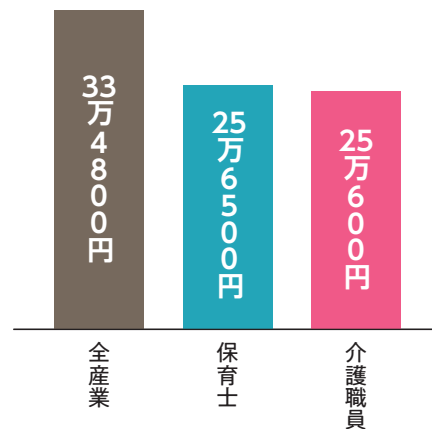
仕事をやめたいと思ったことは？

「いつも思っている」が
10年間で
1.5倍に!



※福祉保育労「福祉職場で働くみんなの要求アンケート」(約3000人が回答)

全産業平均よりまだまだ低い そこに物価高騰が!



厚生労働省・賃金構造基本統計調査(2021年実施)の毎月きまって支給する額
※時間外手当、深夜・休日・宿日直・交替手当などを含まず・社保料控除前